

議会報告

かたの民報 No.1665
2017年7月発行

交野市役所 共産党控室
私部 1-1-1 ☎ 892-0121 (内線 301)



中上 さち子
☎893-6785



さらがいふみ
☎894-2835



藤田 まり
☎397-3027

看護師の配置は?
ケガや病気の対応などに重要な看護師は、公立では全園で配置、私立は7園中2園で配置している

障がい児の受け入れは?
保育所の障がい児の6割が公立に通っています。民営化で障がい児保育がどうなるのか心配されま

公立あまたのみや幼稚園を民営化する市の案について、多くの疑問や不安の声が出されていますが、具体的な対策がまったく示されないまま、市はパブリックコメントを実施し、方針を決定しようとしています。

あまたのみや幼稚園の民営化 保護者も市民も納得していない!

公立あまたのみや幼稚園を民営化する市の案について、多くの疑問や不安の声が出されていますが、具体的な対策がまったく示されないまま、市はパブリックコメントを実施し、方針を決定しようとしています。

待機児童の解消になるの?
民営化された場合、現在の園の定員数を最低基準とし、「待機児童数を勘案して別途協議する」とされています。民営化で待機児童解消がすすむ保証はありません。

私立も公立も 保育環境の充実を
保育を必要とする全ての子どもに安心・安全の保育を保障することは、国と自治体の責任です。児童虐待やDV、失業など子育てに困難のある家庭に、関係機関と連携して支援を行うのも公立園の重要な役割です。

それぞれ特色ある私立園も、公立園も、さらに保育環境を充実させるよう、市の保育予算をもっと増やすべきです。

【交野市立幼稚園 民営化基本方針案】

市は、8月の保護者説明会の後に、パブリックコメントを実施する予定。
(子ども子育て会議資料)

市民の声を 届けましょう!

若く世代に 魅力あるまちづくりを
黒田市政は、幼稚園の民営化と一体に、学校や文化施設など公共施設の削減・集約化を進めようとしています。「コスト削減のために統廃合や民営化を進めるのではなく、若い世代が住みたいと思える子育て支援の充実、魅力あるまちづくりが求められています。

財政効果の使い道は?
市は、民営化の財政効果で、子育て支援策を向上するとしています。ですが、具体的に何を充実させるのか示していません。説明責任を果たさないまま、民営化をおし進めることは認められません。

国民健康保険について

平成29年度も国保料値上げ

交野市の国保料は3年連続値上げとなりました。例えば、所得100万円で60歳夫婦世帯の保険料は19万4千円となり、昨年より4900円の値上げです。

所得	29年度(年額)	昨年よりの値上げ幅
100万円	194,000円	4,900円
300万円	485,900円	17,500円

国保は来年度から「都道府県単位化」に

単位化とは? 大阪府の「統一国保」とは?

安倍政権の医療費抑制のねらいのもと、来年度から、国保財政を都道府県に移行する「都道府県単位(広域)化」が実施されま

す。同時に、維新府政の大阪の場合は、他府県と異なり、保険料や減免基準等を統一する「統一国保」を目指しています。

国保料など加入者への影響は?

● 所得が高い自治体の保険料は高くなる
所得水準が府下でも高い交野市の国保料は3月時点の府の試算では、平均13.9%の大幅な引上げとなります。

29年度国保料と統一国保料(3月府試算)の比較(40代夫婦子ども2人の4人世帯の場合)

所得	29年度国保料	統一国保料	引上げ幅
100万円	192,700円	214,700円	22,000円
200万円	387,900円	426,100円	38,200円
300万円	562,200円	613,200円	51,000円

● 黒字でも、保健事業を頑張っても、保険料は下らない

統一化されると、交野市の国保会計が黒字になっても、特定健診などの効果で医療給付費が減っても、国保料の引き下げには繋がりません。

● 統一基準になれば、減免対象から外れる人も

現行の医療費一部負担金等を含む減免策は、国の制度を上乗せして実施しています。統一化で減免基準が後退すれば、新たに減免から外れる人がうまれます。

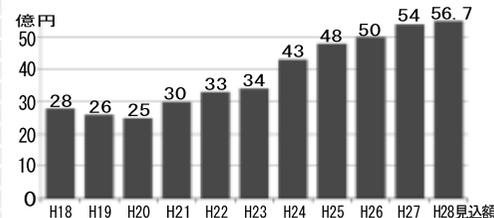
統一化よりも、国保料の軽減策を!

「高くなる保険料」や「減免基準の後退」など、メリットが見られない国保の統一化に、市は参加すべきではありません。

そもそも、保険料軽減や減免基準の決定権は市町村長にあります。今求められているのは負担増となる統一化ではなく、市の一般会計からの繰入れによる保険料引下げや減免拡充など、加入者の負担軽減です。

基金残高は約57億円!

交野市の基金残高の推移



平成28年度決算見直し
交野市の平成28年度決算見直しで一般会計は約4億2千万円の黒字となり、14年間連続の黒字です。
積立基金は、当初予算では約10億円を取り崩す予定でしたが、決算では、2億7千万円積み増しされ、56億7千万円となりました。